



マシエル神父様の紹介

8月15日(土)は聖母の被昇天の祝日です。住吉教会では19:30から日本語、スペイン語の2ヶ国語によるバイリンガルミサが行われます。赤波江神父様とマシエル神父様が司式されます。そこで今月はマシエル神父様をご紹介します。

(7月25日(土)に神戸中央教会に神父様を訪ねお話を伺いました。それをまとめたものです。尚、神父様にはこれを住吉月報に載せる事と、個人情報を公開することを事前に承諾を得ています。多少意識があります。文責・議長黒田)

- * お名前とお生まれ・神父様のお名前は APARECIDO DONIZETTI MACIEL (アパレシド ドニゼッチ マシエル)です。
1967年2月24日生まれで42歳、ブラジル国籍です。言葉はポルトガル語です。
7人兄弟(男3人、女4人)の末っ子です。兄弟で一人だけ神父になりました。
お生まれはサンパウロから北へ約400キロの地図のリベラン・プレト(現地ではヒビロン・プレト)の近くのブロードヴィスキーという街です。神父様はこの街に生まれ育ちました。80歳台のご両親は今もここに住んでおられます。
街の近くは広い平野で、今でもブラジル有数のサトウキビ産地だそうです。
- * 信仰生活・ 小さい頃から両親と一緒に教会に通っておられました。祭壇でミサを捧げる神父の姿を見て、又自分もミサにあずかりながら考え、「今から私は神父になる」と心に決められたそうです。又その当時の神父様は貧しい人達のために色々とお働きしておられました。そのことにも心を打たれました。
- * 司祭への道・ 司祭になるために二つの神学校で学ばれました。
最初に17歳の終わり頃(18歳の誕生日の6日前の'85年2月19日)にサウンズヨハネ・ダ・ボアビスタ神学校に入学されました。そこで'88年まで3年間学ばれました。
'89年12月4日に今度はブロードヴィスキーにあるマリアイマクラダ神学校に入学、そこで哲学を3年、神学を4年、都合7年学ばれました。
1996年6月2日にヒビロン・プレトで司祭に叙階されました。29歳でした。
- * 大切にされている聖書のみ言葉・ フィリピン人への手紙3章8節(前半)
「わたしの主キリスト・イエスを知ることのあまりのすばらしさに、今では他の一切を損失とみています・・・」(新共同訳)

* 日本への道・

司祭叙階後おられた教会には日系人信徒が沢山いました。日系人の信徒会長と片言の日本語を話しながら、少しずつ日本語を覚え、ローマ字で原稿を作って日本語でミサを捧げられたそうです。

その頃から日本に興味を覚え、日本へ行きたい希望を持たれたそうです。

ブラジルには日系人信徒が沢山いるので、日本の司教様方が交替で毎年現地を訪問されるそうです。数年前に池長大司教様が訪問された時、マシエル神父様に会われ、当地の司教様とも話し合わせ、その許可を得て、日本に来られることが決まったそうです。池長大司教様にそのお話を伺いましたが、ご自分で、マシエル神父様の故郷を訪ね、ご両親とお会いになったそうです。

ところが後任の神父様が決まらないため数年が経過し、ようやく今年（'09年）2月8日にマシエル神父様が神戸に来日されました。すぐに日本語が話せるのもこのような背景があったからです。7月、8月は住吉教会でもスペイン語のミサを司式されておられます。

* 趣味と日常生活・

神父様はスポーツは何でも大好きだそうです。一番好きなのはジョギングです。毎朝5時過ぎにおきて、約1時間ジョギングをされます。

走る先は住吉教会近く迄、メリケンパーク、ポートアイランド、等です。

帰ってからシャワーを浴び、心落ち着けて毎朝のミサを捧げるそうです。

ブラジルでは約20キロのハーフマラソンにも出られたそうです。

サッカーは大好きで毎日、ラジオでブラジルの試合結果を聞いています。

音楽はギターを少しやります。

お料理を作るのは大好きです。特に「フェイジュワダ」という黒豆と豚のいろんな肉を煮た料理が得意です。とても美味しいです。

月に一回、料理教室に通ってます。みんなで作って、一緒に食べるのはとても楽しいです。

好きな食べ物は、寿司、焼きそば、味噌汁です。

* 日本について

驚いたこと ・みな忙しい、時間が短い（あわただしい）

・食事を早く食べる。

日本人について ・日本人、みな親切

・時間が正確

* マシエル神父様のむすびの言葉

・日本人のころすきです。

・日本人のころわかります。

・日本人をあいしています。

（神父様と二人で一生懸命に話しました。全ては正確でないかもしれませんが、ころを読み取って下さい。黒田）

カトリック住吉教会評議会

日時：2009年7月19日(日) 10:40~12:00

場所：住吉教会会議室

出席者：赤波江神父、評議会議員17名

議題：

1. 開会の祈り 赤波江神父

2. 講話 赤波江神父

今日は家庭集会についてお話しします。家庭とは小さな教会です。

家庭でミサが行われるということには大きな意味があります。

イエズス様ご自身も司祭・修道者も家庭で育ちました。

家庭というのはいわば最初の召命の学校です。

家が狭いとか人数が集まるかを気にすることなく、むしろ膝を詰め合わせて祭儀を行えることは、どこでも聖体祭儀が実現できるということなのです。そこに大きな教会の生命力とめぐみがあるとと言っても過言ではないでしょう。家庭でミサを行うことは大切なことです。これからも家庭集会に協力してください。7～8月はお休みしますが9月からまた始めたいと思います。

3. 7月26日(日) 17:00 バーベキューパーティー

住吉教会の信徒のふれあい、懇親のため恒例のバーベキューパーティーを開催します。

今回は東ブロック3教会(中央・六甲・住吉)の司祭・修道者ならびに中央・六甲の役員を含め20数名の招待者を予定しています。住吉信徒も多数参加予定。

(中略)

7. 「住吉教会ホームページ管理運営委員会」の設置について(議長提案)

一般の人たちが宣教の場として「住吉教会ホームページ」を見て、カトリックの信仰について興味を持って貰えるような、充実した内容と管理運営が必要です。その為 委員会の設置 委員会要綱 具体的実施案 委員構成につき議長提案があった。

- ・ 本委員会の設置が承認され、7月20日より発足することになりました。

8. 信徒奉仕職としての信徒の「通夜・葬儀」への関わりについて(司祭提案)

- ・ 葬祭でお通夜のようなケースでは今後信徒の参加が不可欠となると予想されます。
- ・ 担当司祭から葬祭(お通夜、葬儀)で参加、奉仕する信徒の役割分担表・予定表の作成など、組織的な参加・奉仕体制を組むように要請がありました。

9. 「婦人会」の設置検討について(継続)(司祭提案)

- ・ 教会は女性がマリア様の役割として活躍が大きいのでみんなが安心して働ける場があると教会が盛り上がります。そのためには今の時代に合った形でつくるのが大切です。今後どうあるべきかについて婦人会の設置について検討していくことになりました。

10. 集会祭儀(8月9日(日))

- ・ 大阪大司教区は各小教区での「集会祭儀」を勧めています。
- ・ 来る8月7日(金)～8月9日(日)まで、赤波江神父様が中高生を率いて広島・津和野巡礼で不在になります。8月9日(日)は住吉教会は集会祭儀を行うことに決定しました。

(中略)

12. 事務室の外部西側へのゴーヤ栽培によるグリーンカーテン。(営繕チーム提案)

事務室の外部西側にゴーヤを植えてグリーンカーテンを作る。エコ対策の取組み。

13. その他・ 「住吉教会バザー」10月18日(日)に変更。

以上

財務チーム紹介

財務チーム長

財務チームは信徒の皆様からお預かりした各種献金を管理する他、教会の維持・運営に係わる予算管理全般を主な仕事としています。

12月に各チームから新会計年度(4月1日～翌年3月31日)の活動計画とそれに必要な予算の申請を受け、新会計年度の教会全体及び各チームの予算を編成し、1月の小教区評議会にて審議・承認を経て大阪大司教区に住吉教会の予算案を提出します。4月には3月までの前会計年度の決算報告書を作成し、小教区評議会の承認を経て小教区総会で信徒の皆様へ報告します。

決算、中間決算は神戸中央教会、三田教会と一緒に三教会合同で会計監査を行い、住吉教会会計は他の教会の会計監事から監査を受けています。